

変わりゆく社会に対応

東京技術士会 10周年記念式典

東京技術士会（二宮孝夫会長）は14日、東京都北区の北とぴあで設立10周年の記念式典を開いた。これまでの10年の歩みをまとめた記念誌を披露したほか、中小企業海外進出支援などで活躍する会員の成果発表を行った。記念講演は、東京都オリピック・パラリン

ピック準備局の斉藤有選手村担当部長が講師となり、整備が進む競技施設や選手村の現況を紹介した。

席上、二宮会長「写真」は「設立10周年を迎えることができたのは技術士業務に引き合いをいただいたすべての皆さまのおかげと深くお礼を申し上げます。この



10年の累計売上高は1億円を超えた。今後も自律・自立の運営を目指し、変わり

ゆく社会に対応し活動していく」とあいさつした。

同会は、ビジネスを展開しようとする東京エリアの技術士の受け皿となる法人を目指し2008年12月に発足。発起人6人でスタートし、現在は会員数が約100人まで増えた。